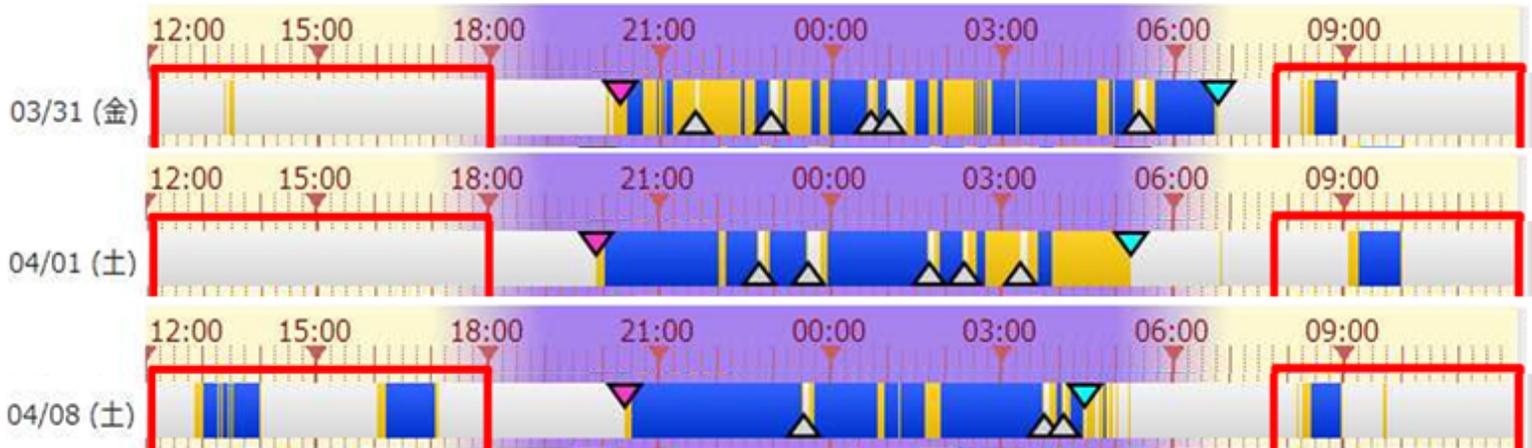


福祉サービスにおける情報機器



小野 美登里(おの みどり)さん
87歳、女性、認知症の診断あり



○データを数値化する

一やり方、ルールー

※全て青色で記入すること。

※青い文字で書かれている項目について、全て記入すること。

※その他については、指定された項目以外に気付いたことや読み取れたことを記入すること。

※わからないことは、早めに質問すること。

	3月31日(金)	4月1日(土)	4月8日(土)
起床時間	※翌日4月1日の起床時間	※翌日4月2日の起床時間	※翌日4月9日の起床時間
就床時間			
睡眠回数			
合計睡眠時間	5時間程度	5時間30分程度	7時間30分程度
覚醒回数			
合計覚醒時間	5時間50分程度	3時間20分程度	1時間程度
夜間離床回数	※そのうち1回は20分程度離れている	※そのうち1回は15分程度離れている	※そのうち1回は10分程度離れている
その他	・1回の最長離床時間約30分 ・1回の最長覚醒時間約50分	・1回の最長離床時間約20分 ・1回の最長覚醒時間約1時間30分	・1回の最長離床時間約10分 ・1回の最長覚醒時間約10分

○美登里さんの睡眠の数値を見て、美登里さんの睡眠について、気付いたこと、わかったこと、気になったこと、疑問に思ったこと、確かめたいこと

(例)〇〇の数値を見て、△△だと思った。

気付いたこと(睡眠の特徴)	根拠となる数値
	(例)3月31日の起床時間7時45分

気付いたこと(睡眠の特徴)	根拠となる数値

○グループの意見(自分の役割:)

※グループの中で特にいいと思ったものを3つ選んで記入、発表する

	気付いたこと(睡眠の特徴)	根拠となる数値
①		
②		
③		

【自己評価】

①データを数値化することができた(5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1)
※振り返り、反省点
②データや数値から日常生活の状況を読み取ることができた(5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1)
※振り返り、反省点
③生活の中に情報機器を使うことの効果に気付くことができた(5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1)
※具体的にどのような効果があると考えたか